

---

# 俺の好きな奴

美湫 穂羅

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

俺の好きな奴

### 【Nコード】

N9252H

### 【作者名】

美溪 穠羅

### 【あらすじ】

聖は、三咲と付き合っていた。そんなある日、三咲が別れると言  
い出て行った。

### 3話

「三咲、どうにか言ってる」

「……っ！俺、知らへんかった。まさか、秋菜ちゃんがそんなコトしてたなんて……」

「はっ！？何言ってるの？」

「こっちで、調べはついてんだよ。奴隷ちゃん」

「っ！？何のコトだよ！」

「奴隷ちゃん、薬やってるでしょ？」

「……っ！何のコト……」

「とぼけても無駄。薬やってなかったら援交やる必要がないやろ。校長まで巻き込みやがって」

「知らない……」

「三咲。いい加減聖の気持ち分かってやれよ」

「……。ゴメン……」

「別にかまへんって。そのかわり、俺とチューするわ」

「同居出来へんかってゴメンな」

「かまへんって。チューで許したる」

『チュッ』

「何してんねん!?!」

「お前が、俺の気持ちに気づかなかった罰や」

「さあ、奴隷ちゃんを警察に送るから聖は三咲をイチメてな」

「りょーかい」

俺は、二宮秋菜を連れ、生徒会室を後にした。

「三咲、マンションへ帰るぞ」

「授業は？」

「サボリや。DMの三咲ちゃんをイヂメなあかんからな」

「・・・！！イヂメんでいいから！行くぞ」

「はいはい」

俺達は、マンションへ帰った。三咲にどんな罰を与えようか・・・。

「三咲。逃げ」

「はっ！？」

「逃げって言ったやろ！」

「はい・・・」

三咲が、DMなものには正直ビックリした。

「じゃあ、どうしたい？」

「寝たい」

「そうか・・・。じゃ、これ着けて寝てもらおうか・・・」

それは、猫耳とメイド服。後は、バイブ。

「何言ってるの!?!?!」

「寝たいんやろ?早く着な」

「うん・・・」

三咲は、肌がとても綺麗だ。

裸の上から、メイド服を着ている。カワイイ。下着はもちろん履いてない。

「バイブは？」 「自分では、無理」

「しゃーないな。こっちにお尻向けて」

「うん」

四つん這いになり、三咲のアナルが可愛いらしく反応している。

「入るで」

アナルに、バイブを入れていく。

「っあ！痛・・・い・・・」

「そのうち、気持ちよくなるで」

「ひ……じ……り……のイチ……わる……っあ」

「ほら、感じてる。身体は、正直やな」

「そのまま、おち○ち○イチってみ」

「い……や……」

「ご主人様の命令や。守れへんなら放置プレイな」

「うっ……。イ……チワル……」

「正直で偉い」

三咲は、自分の勃起しているアソコをしこっている。先からは、滴が垂れていた。

「あっ!! あんっ! だ……め……イクっ……」

「……出せよ……」

「あっ！！！！！」

先っぽから、白い濁った汁が勢いよくでてきた。

「可愛いな。三咲のアソコ。まだ、足りへんみたいやけど？」

「うっ……。聖の入れて……」

「下さいは？」

「俺のアナルに聖のち○ち○入れて下さい」

「よくできました」

俺は、勃起きたアレを三咲のアナルへぶち込んだ。

『グチユ……』

「三咲、可愛いな。動かしたら、気持ちいかな？」

「…………あ…………。イヂワル…………。」

1時間後…………。

「聖のイヂワル」

「そこまで言うならイヂメンと何か？」

「…………うつ。イヂメて」

「正直でよろしい」

「学校行くか…………。」

「そつだな」

俺達は、また付き合っつことになるだろつ。

俺は、三咲に秘密がある。

俺は、三咲と付き合っているのに売春していた。

ゴメンな……。

俺は、三咲のこと好きやない……

END

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9252h/>

---

俺の好きな奴

2011年10月9日17時26分発行